

# ハクサンミヤマヒナバッタ

*Chorthippus supranimbus hakusanus* Yamasaki  
バッタ目・バッタ科

【福井県カテゴリー】 新：県域準絶滅危惧 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】 —

## 選定理由

生息地は三ノ峰の亜高山帯に限定される。生息数は安定しており、開発の危険もないが、分布が局限されることと登山者の増加による植生への影響を考慮し、準絶滅危惧とした。

## 分 布

加賀白山（岐阜、石川、福井）に分布。県内では三ノ峰でのみ記録があり、分布南西限である。標高 1,450m の剣ヶ岩より標高の高いところでみられる。個体数は多い。

## 種の特徴

体長はオス 14～18 mm、メス 18～24 mm。ミヤマヒナバッタの亜種で、本州の高山草原や高層湿原に分布し、生息地によりいくつかの亜種に分けられている。そのうち、白山山系に分布するものに本亜種名がつけられている。生態の詳細は不明である。

## 生息を脅かす要因

生息地での個体数は多く、生息状況は安定している。生息地が特別保護地区内であるため、開発の危険はないが、登山者の増加による植生の踏み付け等の影響により減少するおそれがある。

参考文献 福井県自然保護課（2002）、村井・伊藤（2011）、日本直翅類学会（2006）

| 市 町 別<br>生息情報 | 若狭町 | おおい町 | 高浜町 | 美浜町 | 小浜市 | 敦賀市 | 越前町 | 南越前町 | 池田町 | 永平寺町 | 坂井市 | 越前市 | あわら市 | 鯖江市 | 勝山市 | 大野市 | 福井市 |
|---------------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|
|               |     |      |     |     |     |     |     |      |     |      |     |     |      |     |     | ○   |     |

# ヤマトマダラバッタ

*Epacromius japonicus* (Shiraki)  
バッタ目・バッタ科

【福井県カテゴリー】 新：県域準絶滅危惧 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】 —

## 選定理由

県内では三里浜でのみ確認されている。生息地での発生は安定しているが、砂浜海岸は人為的影響を受けやすい環境である。全国的に本種の生息地は減少しており、近隣では石川県で準絶滅危惧、富山県では絶滅危惧Ⅰ類に指定されている。

## 分 布

北海道、カラ九州に分布し、県内では三里浜でのみ分布。今回、県内の砂浜海岸で調査を行ったが、新たな生息地は確認されなかった。

## 種の特徴

体長オス約 30 mm、メス 30～35 mm。主に自然度の高い海岸の砂地に生息しており、体は白っぽい地色に暗褐色の斑紋を持ち、周囲の砂に同化している。年 1 化。成虫は 8～10 月に出現する。

## 生息を脅かす要因

海岸地域の砂浜にのみ生息するため、開発による砂浜海岸の消失が脅威となる。また、砂浜への車等の乗り入れにより、個体数が減少する恐れもある。

参考文献 福井県自然保護課（2002）、石川県自然環境課（2009）、村井・伊藤（2011）、日本直翅類学会（2006）、富山県自然保護課（2012）

| 市 町 別<br>生息情報 | 若狭町 | おおい町 | 高浜町 | 美浜町 | 小浜市 | 敦賀市 | 越前町 | 南越前町 | 池田町 | 永平寺町 | 坂井市 | 越前市 | あわら市 | 鯖江市 | 勝山市 | 大野市 | 福井市 |
|---------------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|
|               |     |      |     |     |     |     |     |      |     |      | ○   |     |      |     |     |     | ○   |

# ヒメハルゼミ

*Euterpnosia chibensis chibensis* Matsumura  
カメムシ目・セミ科

【福井県カテゴリー】 新：県域準絶滅危惧 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】 —

## 選定理由

県内では若狭町御神島で記録があるのみであったが、今回の調査で新たな生息地が確認された。生息地は局所的で、個体群のサイズも小さいと考えられ、存続基盤は脆弱と判断されるため、準絶滅危惧とした。

## 分 布

本州（関東以西）、伊豆諸島大島、淡路島、四国、九州、南西諸島の一部に局地的に分布する。県内では御神島でのみ記録があったが、今回おおい町内で生息地が見つかった。

## 種の特徴

体長はオス 23～30 mm、メス 25～27 mm（全長 29～40 mm）。シイ、カシ類、ハゼノキ、ツバキ、クスノキ等からなる暖地林を好み、しばしば神社等の常緑広葉樹からなる社叢林に生息する。成虫は 6 月下旬～8 月上旬にかけて出現し、7 月上旬に多い。

## 生息を脅かす要因

本種の県内での分布は局所的である。離島の暖地林や社叢林等が生息地となっているため、開発等による脅威は少ないと考えられるが、個体群サイズが小さく、生息基盤は不安定といえる。

参考文献 福井県自然保護課（2002）、林・税所（2011）、和田（2011）

| 市 町 別<br>生息情報 | 若狭町 | おおい町 | 高浜町 | 美浜町 | 小浜市 | 敦賀市 | 越前町 | 南越前町 | 池田町 | 永平寺町 | 坂井市 | 越前市 | あわら市 | 鯖江市 | 勝山市 | 大野市 | 福井市 |
|---------------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|
|               | ○   | ○    |     |     |     |     |     |      |     |      |     |     |      |     |     |     |     |